

020

リスクを伴う災害復旧作業に対して労災リスクと第三者賠償リスクを補償する「防災協定プラン」

取組主体

AIG 損害保険株式会社

従業員数

6,797 人

想定災害

全般

実施地域

全国

- ・災害時にリスクの高い環境下で復旧活動に尽力する建設作業員と企業に対する補償内容を検討し、地方自治体の防災協定に基づき支援活動を行う際に利用する「防災協定プラン」を開発。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

防災協定発動時の建設業の労災リスクと第三者賠償リスクを補償する防災協定プランを開発

- ・各種損害保険商品とサービスを提供するAIG 損害保険株式会社は、建設業団体会員企業が各地方自治体との防災協定に基づき災害時の復旧に向けた支援活動を行う際の労災リスクと第三者賠償リスクを補償する「防災協定プラン」の販売を開始した。
- ・建設業界は、平時の業務に加え、災害時には復旧支援等の地域社会貢献に向けた重要な役割が求められており、自治体との防災協定に基づく災害発生直後の道路啓開等を行っているが、有事の際の作業は、リスクを負って奉仕することが当然であるかのような風潮があった。
- ・復旧支援活動を行う会員企業の従業員がリスクの高い環境で作業しているにもかかわらず、ケガ等の業務災害リスクや、作業中に発生した事故等に起因する対人・対物といった第三者賠償リスクへの補償が不十分であることが課題となっており、建設業団体から相談を受けた同社が、調査・研究を重ね、同プランの開発に至った。
- ・同プランの補償内容は、「労災リスク（死亡保険金、後遺障害補償保険金、使用者賠償責任補償保険金）」「第三者賠償リスク（対人・対物）」となっている。
- ・災害時の活動を充分に行うことができるよう、万一の事態に備えて、リスクマネジメントや事前のプランを平時に作成することを啓発する資料も発行している。



有事の際に備えた啓発資料

2 現状の課題・今後の展開等

- ・国内ではこれまで、有事の際の労災や第三者賠償については積極的に議論がなされてこなかったため、有事の際にも平時の補償を適用させる想定になっている事案がほとんどであると同社は考えている。しかし労災に民間の上乗せ補償保険や第三者賠償保険等をしている場合でも、天災の場合は免責となることが一般的であるため、有事の際の応急復旧活動に作業をされる方々への補償についてはまだ多くの課題が残っている。平時の労災や補償内容の範疇を超える事案についてカバーできるよう、検討を重ねている。

担当者の声

- ・地震をはじめとした自然災害が当然のように発生する日本であるにも関わらず、有事の際に作業をされる方々への補償については多くの課題が残っています。自然災害発生直後から復旧に命懸けで対処する方々の補償を確立させることは、国土強靱化を推進していく中で、人道的な観点からも重要なポイントになると考えています。

問合せ先

AIG損害保険株式会社 法人番号：5010001146209
TEL：03-6848-8500

サイト URL

